

■ 指定管理者制度導入施設 最終評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原市立古淵デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人たけのうち福祉会
指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
施設設置条例	相模原市立高齢者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の介護を必要とする高齢者に対し、入浴、給食その他のサービスを提供することによって、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担を軽減し、もって高齢者の福祉の増進に關与するため。
施設概要	<p>高齢者が自宅から通い、入浴、食事などの日常生活の世話や機能訓練を受けられる施設</p> <p>所在地：相模原市南区古淵4-24-1 古淵住宅1階</p> <p>延床面積：398.13㎡（機械室除く）</p> <p>主な施設：作業及び日常動作訓練室、浴室、食堂、相談室、会議室、ボランティア活動室</p> <p>構造：鉄骨鉄筋コンクリート造</p> <p>開所時間：午前8時15分から午後5時15分まで</p> <p>休所日：日曜日及び土曜日、年末年始（12月29日から1月3日まで）</p> <p>定員数：25名</p>
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数合計（人）	5,567	5,499	4,780
うち要支援1（人）	0	0	0
うち要支援2（人）	150	161	91
うち要介護1（人）	1,825	1,547	1,448
うち要介護2（人）	1,556	2,002	1,923
うち要介護3（人）	1,204	1,211	661
うち要介護4（人）	714	537	580
うち要介護5（人）	118	41	77
介護保険事業収入（円）	62,984,418	59,527,027	57,498,845

3 成果指標の達成度

評価 (5評価)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価点 (20点満点)	評価点
	B	B	B		10

指標 1	
指標名 (単位)	利用率 (%)
指標式と指標の説明	年間利用者数 ÷ (1年間の営業日数 × 利用者定員数) ※利用者定員数に対する年間の利用割合

項目 (単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値 (人)	95.0	95.0	95.0
実績値 (人)	87.3	85.9	81.7
達成度 (%)	96.5%	94.9%	90.3%

※制度上、定員制限があるため、実績値100%が最大値になる。実績値100%でも目標値95で割ると達成度は105%になり、評価基準上「A」評価となり、令和元年度以降は実績値100%の場合に「S」評価とするため、1.05を乗じ、達成度が110%になるように調整している。

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	A	B		13.3

市が指定する事業		
主な事業名	内容等	効果等
(なし)	—	—

企画提案事業		
主な事業名	内容等	効果等
外出機能訓練	利用者ごとに目標を立て近隣を歩く歩行訓練のほか、公園などを歩き季節を感じる	歩行訓練は令和5年度を除き通年で開催し、利用者計166名が参加(令和4年度105名、令和6年度61名)
外食機能訓練	社会的リハビリと利用者間の交流を図ることを目的に、近隣の飲食店で外食に行く	令和5年度から数日開催し、利用者計104名が参加(令和5年度52名、令和6年度52名)
買い物機能訓練	社会的リハビリと自然に歩行距離が延びることを目的に、近隣の店舗に買い物に行く	各年度数日開催し、利用者計66名が参加(令和4年度27名、令和5年度27名、令和6年度12名)
敬老会	利用者や職員の写真などの動画を流し、職員が歌を歌う。職員や同一法人の保育園児からプレゼントを贈る	各年度数日開催し、利用者計199名が参加(令和4年度63名、令和5年度66名、令和6年度70名)
運動会(スポーツ大会)	個人戦・団体戦のいろいろなプログラムに挑戦	各年度数日開催し、利用者計199名が参加(令和4年度67名、令和5年度61名、令和6年度71名)
クリスマス会	パンやパイなどを作り、ボランティアとクリスマスを祝う	各年度数日開催し、利用者計173名が参加(令和4年度68名、令和5年度44名、令和6年度61名)
すいとん作り	利用者全員で作業を分担し、おやつとして提供する	令和6年度2日間実施し、利用者40名が参加

自主事業		
主な事業名	内容等	効果等
社会貢献活動(バザー)	利用者等が作成した作品を地域の方とバザーで販売し、売上を市の困窮家庭支援事業へ寄付する	令和4年度は248,610円を寄付した。令和5年度は206,426円を寄付した。令和6年度は会場が改装工事のため、場所や時期を検討したが、中止した。

5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価点 (20点満点)	評価点
	C	B	B		8.33

利用者満足度調査	
調査手法	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会に委託した無記名アンケートを期間中に利用実績のある利用者に配布回収。実績値(満足度)はアンケートによる事業所の総合評価点
目標値の基準	本市の高齢者等実態調査における、デイサービスを含む居宅介護サービスへの満足度の設問に対する「満足」、「おおむね満足」の合計の割合

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（%）	88.3	88.3	88.3
実績値（%）	78.9	82.3	81.6
達成度（%）	89.4%	93.2%	92.4%

利用者意見の把握に資するその他の取組	
主な取組事項	取組内容
アンケートBOX	施設受付にアンケートBOXを設置し、利用者からの意見や要望を随時受け付けている。受け付けた内容は毎月確認し職員会議の議題として検討する。

利用者意見に対する対応	
主な意見	対応内容
<p>①職員間での連絡不足が時々ある</p> <p>②入浴時の着替え間違い、靴の履き替えについて</p> <p>③トイレが空いているときなど積極的に声をかけてほしい。トイレパッド交換の時、後ろ側に手が届かないので介助して欲しい。</p> <p>尿失禁、便失禁などの時、大人の対応をお願いします。(高齢者のプライドを傷つけないように)など</p>	<p>①お休みの連絡等の共有漏れや、その場で回答が出来ない場合は相談員に話してもらうように案内することがありました。情報はミーティングや共通の連絡帳を活用し、伝えつつもりで伝わっていなかったということがないよう話し合いました。</p> <p>即回答が難しい場合の適切な対応について話し合いました。</p> <p>②基本的にご自分でできるところには手をださず、声掛けをしている方に起こりえる事例かと思われしますので、職員に改めて注意を促し、着脱職員だけでなくフロアーで整髪を担当する職員も気を付けるようにします。</p> <p>③トイレ付近で待っている方がいてトイレが空いている場合はお声がけをしています。お席にいらっしゃる方にはお声がけはしておりませんので、ご希望であればトイレが空いたら教えて、と職員に伝えていただければお声がけできますので、ご協力をお願いします。</p> <p>失禁時の対応については、プライバシー保護の研修や日々先輩職員が指導をしていますが、まだ未熟な声かけがあるようでしたら申し訳ございません。目上の方への対応・尊厳を守る対応を今後も指導して参ります。</p>

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価点 (20点満点)	評価点
	B	S	B		13.3

施設の収支概要

(千円)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入 (a)	63,219	59,716	57,826
介護報酬等	50,926	48,830	46,864
利用者負担金等	11,132	10,451	10,015
その他	1,161	435	948
支出 (b)	57,448	59,229	63,277
人件費	44,752	44,949	49,040
事業費	7,547	8,293	9,453
事務費	5,054	5,779	4,561
その他	95	208	222
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)	5,771	487	-5,450
自主事業収入 (d)	249	206	0
自主事業支出 (e)	249	206	0
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)	0	0	0
事業活動収支 [(c)+(f)] (g)	5,771	487	-5,450
施設整備等収入 (h)	0	0	0
施設整備等支出 (i)	187	0	0
施設整備等収支 [(h)-(i)] (j)	-187	0	0
その他収入 (k)	700	0	0
その他支出 (l)	6,761	364	321
その他収支 [(k)-(l)] (m)	-6,061	-364	-321
全体収支 [(g)+(j)+(m)] (n)	-477	123	-5,771

備考

- ・令和4年度の事業活動収支の減は利用者減によるもの。
 - ・令和4年度の施設整備等支出減は送迎車両を購入していないため。
 - ・令和4年度のその他収入はコロナ対策事業補助金237,050円、指定管理者制度導入施設支援金690,000円を含む。
 - ・令和5年度のその他支出は人件費積立資産と備品等購入積立資産によるもの。
 - ・令和5年度の事業活動収支差額の減は退職に係る人件費及び消耗品器具備品費によるもの。
 - ・令和5年度のその他収入は指定管理者制度導入施設支援金245,000円を含む。
 - ・令和5年度のその他支出364,000円は退職給付引当資産によるもの。(人件費及び備品等購入積立資産支出なし)
 - ・令和6年度の減収は利用者減によるもの。
 - ・令和6年度のその他収入は指定管理者制度導入施設支援金620,000円を含む
 - ・令和6年度のその他支出321,000円は退職給付引当資産によるもの(人件費及び備品等購入積立資産支出なし)
- ※令和6年度について、各費目で千円未満を四捨五入して表記しているため、各項目の合計及び収支の計算は一致しない。

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無	無	無	無
主な加点内容			

8 指定管理者の自己評価

平成18年度から指定管理者として継続して運営してることが出来ました。
この期間、高齢者住宅が増え、軽度者の転居や市内のホームが入居しやすい状況になって行く中で、通所施設の維持に向けて各施設が苦勞している状況になってきています。加えて職員不足による運営の困難さと派遣職員の受け入れによる人件費の圧迫、介護収入が上がらない状況で最低賃金だけが上がっていくという経営的に厳しいかじ取りが必要になり閉鎖する施設も出始めてきている中で、利用者の満足度を上げる為に努力してくれた職員に感謝しています。
市立のデイサービスセンターとして無事役割を終えられたこと、受け入れ先として新しい施設（居場所）を開設したこと、最終年度も手を抜くことなくバザー以外の計画をこなしながら引っ越しと片付けをし、休業期間なく翌日には新しい施設を運営出来たことに満足しています。

9 所管課意見

・高齢者の通所施設として、指定期間の前半は新型コロナウイルス感染症による影響が残る中、様々な努力をして運営を継続したことに感謝申し上げる。令和5年度からはインスタグラムを新たに活用する等、稼働率の向上と、情報発信のため、積極的にSNSの活用を実施した点を評価する。
・敬老会において施設利用者と職員で撮影した写真や子ども達からのお祝いの動画を流すなど、指定期間を通し、利用者の心身機能の維持向上のために数多くの事業を展開した点を評価する。
・重度の方をより多く受入れるためには、職員の確保や費用面に課題が生じるが、外部のサービスをうまく組み合わせるなど、経営面においても工夫した点を評価する。市立施設を運営するにあたり、培った地域連携の取組が、新たな施設においても継続されることを期待する。

10 選考委員会意見

・法人全体の経営状況について、指定期間を通して特段の課題はなく、継続して健全経営に取り組んでいた。
・成果指標の達成度について、コロナ禍の影響を受けたことは否定できないが、施設の廃止が決まっている中、ホームページ、ブログ、YouTube及び新聞など、様々な媒体を活用し、新規利用者の開拓を進めてきた点は評価できる。
・利用者の機能、体力面での低下を少しでも防ぐために、外出機能訓練、外食機能訓練、買物機能訓練など、創意工夫し様々な事業展開に取り組んできたことを評価する。これらの事業は施設から外出することで施設内では得られない、地域とのつながりが深まる効果がある良い取組であったと評価できる。
・指定期間を通し、特に令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策と並行する中、利用者が自己の存在価値を実感できる事業を積極的に実施した点、また、令和6年度は施設廃止に伴う様々な対応と並行し、利用者が自ら選択する喜びや誰かの役に立つという喜びを感じられるような事業を数多く展開した点を評価する。また、令和5年度から新設したインスタグラムは、家族への情報発信としても有効に活用されており、利用者満足度調査においても事業所の良い点として具体的に評価されている。
・令和4、5年度に実施した社会貢献活動（バザー）の取組は、利用者が社会参加し、その成果が生活困窮者への寄付につながる大変意義深いものである。指定管理者としての業務は終了したが、法人が運営する他施設等において、本事業の実施経験を活かし、今後も地域共生社会の実現に寄与されることを期待したい。
・指定期間を通して風通しの良い職場環境づくりと円滑な情報共有・連絡体制の確保により、職員間の連携を強化し、より良いサービス提供につなげてきた点を評価する。また、BCP(災害・感染症)に関する研修を実施し、職員の意識向上と緊急時への備えを着実にやってきた点も評価できる。

総合評価（自動判定）

